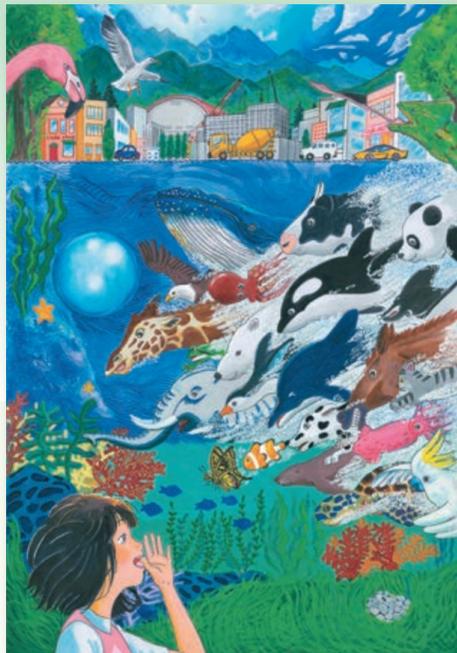


最優秀賞



[子供の部] 渡辺奈緒さん(14歳)「海への願い」



[大人の部] 東京都 瀧川正章さん「集まれ!地球家族」

団体賞

愛知県
あいち造形デザイン専門学校高等課程
福井県
森田キッズアートスクール

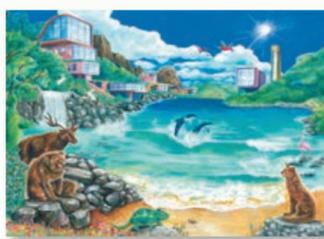
優秀賞



岩手県 舩井寧彩さん(14歳)
「巡る命」



兵庫県 田中優羽さん(10歳)「スマイル」



京都府 稲荷遼さん「架け橋」



神奈川県 平野叶華さん(14歳)「生命は巡り巡って」



宮城県 佐藤思緒さん「煌めく」



埼玉県 鈴木麻友さん「Coexist city」



栃木県 月岡寛翔さん(3歳)
「すてきな海のいきもの」



大阪府 クエンクイン アンさん「一蓮托生」



愛知県 フォンティドアンチャンさん
「海の中の未来」



大阪府 木全菜緒さん
「碧の継承:スラグが描く未来の瞳」

鉄鋼スラグ製品と海と森 アートコンテスト 第18回受賞作品が決定しました。

鉄鋼スラグ協会が開催している「鉄鋼スラグ製品と海と森 アートコンテスト」。
第18回となる今回も、多くの皆様から作品のご応募をいただきました。ありがとうございました。
このたび、水中写真家の中村征夫氏を委員長とする選考委員会による厳正な選考のもと、12の受賞作品と2つの団体賞が決定しました。

「鉄鋼スラグ」は
私たちの街や海で
活用されています。

鉄鋼スラグとは、製鉄の過程で発生する副産物のことです。鉄は鉄鉱石や石灰石を溶かして作られますが、そのとき一緒に発生する鉄以外の石の成分が鉄鋼スラグです。
この鉄鋼スラグ、なんと1年間に約3000万トン、東京ドーム13杯分もの量が発生するのですが、実にその99%以上が私たちの暮らしの身近なところで活用されています。

石状、砂状に加工された鉄鋼スラグは、天然の石や砂の代わりに道路の路盤材やコンクリート用骨材、サンドコンパクション材として粉にした鉄鋼スラグはセメントに混ぜて使われています。他にも、鉄鋼スラグには鉄分やカルシウム、シリカ、マグネシウム、マンガンなどのミネラル成分が含まれているので、お米や野菜、海藻の肥料としても使われています。
また、海の環境改善にも鉄鋼スラグの有用性が認められています。昨今、海の生態系を支える海藻が減少する「磯焼け」という現象が問題になっていますが、鉄鋼スラグをもとに作られた製品が、海藻の育成に役立っているのです。

海藻の栄養となる鉄分を海に届ける鉄鋼スラグ製品である「ビバリーユニット」、海藻が生える石や岩として使うための「鉄鋼スラグ水和固化体製人工石材・ブロック」、「マリンプロック」、あるいは海藻に光が当たる浅い海を作るのに役立つ「カルシア改質材」などが、海洋環境の改善に効果を発揮しています。

「鉄鋼スラグ」をきっかけに、
地球や生命について
考えてほしい

鉄鋼スラグ協会では、そんな鉄鋼スラグ製品のことをより多くの人に知っていただくとともに、コンテストへの応募をきっかけに、地球や海や山や多くの生命について考えてほしいという願いを込めて、「鉄鋼スラグ製品と海と森アートコンテスト」と題した絵画やイラストの作品を公募するコンテストを、毎年開催しています。テーマは「海や山や川や森、そして私たちが暮らす町や都会を舞台に、たくさんの生命が輝き、共存している様子を表現すること」。

今年で18回目を迎えますが、応募作品のクオリティーが回を重ねるごとに高くなっていくことをうれしく思います。それは、このコンテストのテーマに対する皆さまの思いも深くなっていることにはかならないからです。

これからも、そんな皆さまとともに「鉄鋼スラグ製品と海と森アートコンテスト」を続けてまいります。次回、第19回の募集要項は、2026年4月中旬に鉄鋼スラグ協会のウェブサイト (<https://www.slag.jp/>) で発表いたします。次回も皆さまの力作をお待ちしています。

なお、第18回受賞作品は、鉄鋼スラグ協会のウェブサイトでもご覧いただけます。団体賞の作品につきましては、応募作品が多数のため本紙面、ウェブサイトともに掲載ができませんことをご了承ください。

鉄鋼スラグとSDGs
鉄鋼スラグは、2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の17の目標のうち、6つの目標で貢献を果たしています。

12 目標12
つくる責任つかう責任
製鉄所で作られる鉄鋼スラグはさまざまな製品となって社会の中で使われています。

13 目標13
気候変動に具体的な対策を
普通のセメントは、石灰石などを焼いて作るときに大量の二酸化炭素が出てしまいますが、鉄鋼スラグを混ぜて使えば、混ぜた分だけ普通のセメントを作る必要がなくなり、新たに発生する二酸化炭素を減らすことができます。

また、鉄鋼スラグで育った海藻は、陸上の植物のように二酸化炭素(CO₂)を吸って光合成を行い、酸素(O₂)を放出して残った炭素(C)を蓄えます。やがて、海藻が岩や石からはがれて海に漂い、深い海の底に沈むと閉じ込められて大気に戻らなくなります。このような、海藻のような浅い海で育つ生物たちが吸収して蓄えられてくるカーボンはブルーカーボンと呼ばれ、地球温暖化の防止に役立つことが期待されています。

2 目標2
飢餓をゼロに
二酸化炭素の発生を減らすことは干ばつや巨大な台風の原因、氷河などがとけることによる海面上昇を引き起こす地球規模の気候変動である「地球温暖化」をおさえるために非常に重要なことです。

9 目標9
産業と技術革新の基盤をつくろう
天然の岩石である鉄鉱石や石灰石から生まれた鉄鋼スラグからは、お米や野菜の肥料となるいろいろなミネラルが出てきます。まずはカルシウム。土が酸性化し過ぎないようにアルカリ分を与え、お米や野菜が育ちやすいpHに保つことができます。そしてケイ素。お米を作るときに育てる稲は、ケイ素の効果で茎が丈夫になり、強風などに対しても倒れにくくなります。また、葉っぱがピンとすることで稲の奥まで光が当たって生育が良くなり、お米がたくさん実ります。他にも、鉄分、マグネシウム、マンガンなどのミネラルで野菜がよく育つ土を作ることができます。土が良くなると、病気などに強い野菜が育ち、収穫量がアップします。

14 目標14
海の豊かさを守ろう
鉄鋼スラグ製品は、道路の建設や、港を波から守るための防波堤の建設、そして、大きな工場を支えるための地震に強い地盤の造成など、産業を支える基盤づくりのいろいろなところで活躍しています。

8 目標8
働きがいも経済成長も
「ビバリーユニット」、「マリンプロック」、「鉄鋼スラグ水和固化体製人工石材」、「カルシア改質材」といった鉄鋼スラグ製品が、生物が集まる豊かな海づくりに役立っています。

鉄鋼スラグ製品によって、海洋環境が改善し漁場が豊かになることで、漁業が安定し、雇用の増加や関連産業の発展が期待できます。

